

徳島法務総合庁舎 供用



南東面外観

点在する庁舎を集約・立体化

国土交通省四国地方整備局が徳島市に整備してきた徳島法務総合庁舎が完成し、供用開始した。老朽・狭あい化した徳島地方検察庁の建て替えに合わせ、市内などに点在する徳島地方法務局、徳島保護観察所、高松出入国在留管理局出張所を集約・立体化し、国有地の有効活用とともに利用者の利便性向上、執務環境の改善を図った。施工は建築その他を西松建設、電気設備は四電工、機械設備は三建設備工業、エレベーター設備は日本オーチス・エレベーターが担当。設計は梓設計、工事は監理は宮建築設計が手掛けた。



国土交通省 四国地方整備局 宮繕部長 嶋津 伸一

皆さまにおかれましては、日頃より官庁営繕業務に多大なご理解とご協力を賜っておりますこと厚く御礼申し上げます。このたび、四国地方整備局宮繕部が整備を進めてまいりました、徳島法務総合庁舎が完成いたしました。

見える化で建設現場のイメージ向上

本庁舎は、老朽・狭あい化した地方検察庁の建替に合わせ、市内等に点在する法務局、保護観察所および出入国在留管理局出張所を集約・立体化し、国有地の有効活用、利用者の利便性の向上、執務環境の改善等を図ることを目的として整備したものです。

庁舎の計画にあたっては、敷地西側の徳島城跡を意識して建物の外観や配置を計画することで、地域の良い景観形成に寄与するよう努めました。また、工事中は、受注者のご協力を得て国道に面する仮囲いの大半を透明なものとする「建設現場の見える化」にも積極的に取り組み、建設現場のイメージアップに努めました。

本庁舎が無事に完成しましたのは、入居官署の皆さまや事業関係者各位のご尽力及び周辺住民の方々のご協力のたまものであり、心より感謝を申し上げます。

設計コンセプト

四国徳島における立地特性を理解し、多様な来庁者や働く職員が使いやすく、安全で景観と環境に配慮した堅実な庁舎を計画しました。

人にやさしく景観・環境に配慮

【徳島城跡を背景にしっかりと佇む緑豊かな庁舎】
徳島城跡に面して緑化や壁面後退を行い、うるおいのある空間を創出し、周辺と調和した緑豊かなイメージとしています。また、周辺の歴史的な瓦屋根の風景や隣接施設との調和を考慮した色彩としています。

【すべての利用者にやさしい庁舎】
敷地の車出入口を3か所設け、敷地内車路を回遊・滞留できる計画とすることで周囲の交通渋滞に配慮するとともに、歩行者には東西に抜ける動線を設け、城跡側と国道側の双方からアクセスしやすい計画としています。

また、高齢者・障害を持たれた方など全ての人が利用しやすい施設とするため、1階に受付や点字表示・点字ブロックによる誘導、授乳室や各階に多目的トイレを設置するなど、ユニバーサルデザインを積極的に取り入れています。

【環境への配慮】
雨水利用や太陽光発電設備を設置するなど、自然エネルギーの有効活用を推進しました。また、開口部は此による日射抑制に配慮し、空調機等は高効率機器の採用や明るさセンサーの照明など、積極的にエネルギー使用の低減に努めています。

四国地方整備局宮繕部整備課

現場は主要幹線道路の国道11号線に面し、狭い敷地です。徳島地方検察庁が建てていた跡地で敷地西側に仮庁舎を用意し、工事の範囲を区切って新庁舎の工事がスタートしました。交通量の多い道路沿いの上、すぐそばで執務している人がいるため資機材の搬入・搬出計画を入念に立案しました。
当初計画では大型車両が進入できず、搬入口を6号から12号に広げました。ガードマンを2カ所に配置し、南北に直進する3車線の車の流れを妨げないよう敷地から南側の交差点を東・西方向からの左折・右折と時搬入するように計画しました。適時適切に資材が入れられないと現場の工程に影響します。ガードマンを適宜増員するなど円滑な搬入を徹底しました。
外装にプレキャスト(PCa)構造を採用したのが特徴です。都市部では無足場で施工することが多いですが、この現場では外部足場を組み外装を仕上げました。24年4月に鉄骨建て方の完了後、複数の工程が錯綜(さくそう)して全10フロアの仕上げ工事は特にタイトなスケジュールとなりました。
土日閉所の完全週休2日が求められる工事でもあり、設備工事の元請各社と綿密に調整しながら、手戻りなく24年10月に完成、引き渡しができました。同11月に仮庁舎から新庁舎に引っ越し作業を行い、同12月から仮庁舎の解体・外構工事を進め、すべての工事が無事完了しました。国の営繕工事は品質・安全面で求められるハードルが一つ上がり、提出書類の作成には特に気を配りました。今回は電子システム内に現場専用グループを作り、発注者との資料のやり取りや会議録などを電子納品という形で蓄積していき、PD F化するなどの二重作業が省力化でき、効率的な現場管理につながりました。

効率的な搬入計画で現場を円滑化

工事を振り返って

- 工事場所：徳島市徳島町2-17
- 発注者：国土交通省四国地方整備局
- 設計者：株式会社梓設計
- 監理者：株式会社宮建築設計
- 施工：西松建設株式会社(建築その他)
株式会社四電工(電気設備)
三建設備工業株式会社(機械設備)
日本オーチス・エレベーター株式会社(エレベーター設備)
- 全体工期：2022年10月1日～2025年6月20日(建築)
- 主要用途：事務庁舎1棟、自転車置き場3棟
- 構造・規模：S造10階建て延べ1万1,856.58㎡(庁舎)
- 最高高さ：43.91m

四国地方整備局長から国道に面した仮囲いを全面的に透明パネルにする「建設現場の見える化」の要請を受けました。通りを行く人や建設業を担う次世代にもこの取り組みの関心を持ってもらうという意識が現場内に働き、いつも以上に整理・整頓を心掛け、緊張感を持って作業に臨むことができました。
在来工法の積み上げで地道な作業の連続でしたが、不具合があればその場で徹底的に直してきました。完成形もこれまで手掛けてきた建物の中で非常に満足のできるものになりました。
西松建設株式会社
西日本支社四国支店
令和4～6年度徳島法務総合庁舎
建築その他工事
現場代理人・監理技術者
所長 北井達彦



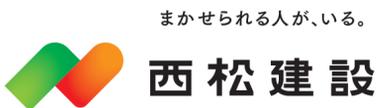
会議室



エントランス



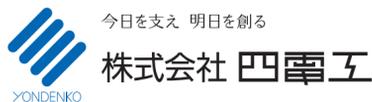
南東面夕景



まかせられる人が、いる。
西松建設

本社 〒105-6407
東京都港区虎ノ門1-17-1
虎ノ門ヒルズビジネスタワー
TEL:03-3502-0232

四国支店 〒760-8503
香川県高松市番町3-8-11
TEL:087-831-1471



今日を支え 明日を創る
株式会社 四電工

本店 〒761-8565
香川県高松市花ノ宮町2-3-9
TEL:087-840-0230

徳島支店 〒770-0807
徳島県徳島市中前川町5-1-115
TEL:088-626-5220



三建設備工業株式会社

本社 〒104-0033
東京都中央区新川1-17-21
TEL:03-6280-2561

四国営業所 〒760-0024
香川県高松市兵庫町8-1
TEL:087-851-8040



OTIS
日本オーチス・エレベーター株式会社

本社 〒104-0033
東京都中央区新川2-27-1
TEL:03-6222-9150

四国支店 〒760-0017
香川県高松市番町1-6-1
TEL:087-822-2865